

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	<b>会 報 第 266 号</b>	2023年9月25日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
---------------------------	--------------------	--

### 1. 活動報告（事務局 記）

- 8月23日（水）水路の水漏れ箇所は、須賀河内川の堰の上流側の底に少し穴がありましたので、センターより土嚢を沢山もらい底全面に土嚢を積み上げて、水漏れを止めました。参加者は会員6名でした。緊急の作業でしたが、お疲れさまでした。
- 9月3日（日）暑い中13人で、昆虫観察場所（休耕田）の草刈り、市道の草刈と整備、ビオトープ内の草刈り、草原の川の除草の作業を行いました。
- 9月16日（土）天気も良く少し暑い日でしたが、親子自然観察隊は昆虫観察をしました。ビオトープから市道沿いに昭和山入り口までを往復し、トンボや蝶やバッタ等を捕まえて虫かごに入れ東屋に帰りました。名前を確認し逃がしてやりました。他の会員は、東屋付近の草刈りと水路の一部が漏水しているので、土嚢で補修を行いました。参加者は、親17名、子22名、来賓者3名と幼児1名、会員17名でした。
- 9月23日（土）行事が重なったためか、参加会員は10名で、駐車場の草刈り、たんぼの周りの草刈り、刈った草などの片づけと焼却の作業を行いました。

### 2. 今後の予定（事務局 記） ◎行 事

- 10月1日（日）維持活動（草刈り・稲刈り準備）
- 10月8日（日）稲作体験・稲刈り（親子自然観察隊・二俣瀬子ども会を招聘）
- 10月22日（日）臨時総会（今後の活動について）

### 3. 来訪者の声

今回はありません。

### 4. 会員の声 「 」 （記）

## 5. 親子自然観察隊 「昆虫観察」 (菅 哲郎 記)

お天気が心配されましたが、幸いにも曇り～晴れ、「秋の昆虫採集」のイベントを行いました。9月とはいえ残暑真っ盛り、気温は27℃～31℃ほどで、さすがにお昼前には暑くなり、良い時刻に終えることができました。

9月は学校行事(運動会など)と重なって、出席できない隊員たちもいましたが、それでも20名ほどの隊員たちが集まり保護者合わせ40名近い人数でフィールドに出かけました。

未明の降雨の影響や曇り空が朝の間続き、昆虫たちの出現が思わしくなかったのですが、昼前には青空が広がり、ようやく昆虫類も多くみられるようになりました。トンボ類11種類、チョウ類5種類、バッタ・キリギリス類6種類、ガ類2種類、甲虫類2種類など思った以上の成果でした。さすがに「ハチ類」は採集しませんでした。オオスズメバチやアシナガバチなどを筆者は確認していますが、ここには記載していません。

余談ですが、採集したオオカマキリに水をかけたところ、カマキリのおなかより“ハリガネムシ”が出てきました。何かわからず隊員のみんも驚いていましたが、カマキリとハリガネムシの生態を知ることができ、有意義な昆虫教室になったようです。

また、農道わきには秋の代表的な花“ワレモコウ”や“ママコナの花”などが咲き、ミツバアケビの実が見られ、目を楽しませてくれました。ワレモコウなどは今あまり見られなくなっていますが、ここでは20年前から必ず花を咲かせてくれており、貴重な生息場所になっています、このまま保全したいものです。

手足の切り傷やダニにかまれないか、あるいは草むらで“落とし穴”に落ちてけがしないか心配でしたが、幸いにも事故などは全くなく、無事終了いたしました。引率されたスタッフの皆さん、ご苦労様でした。また、1時間少々の歩行は結構汗をかきました、東屋に帰着しスタッフの皆さんの出してくれたお茶や暑いコーヒーが大変ありがたかったです。ありがとうございました。

### 【確認できた昆虫類】～28種類～

<トンボ>キイトトンボ、ホソミイトトンボ、アオイトトンボ、モノサシトンボ、ハグロトンボ、シオカラトンボ、マユタテアカネ、マイコアカネ、ヒメアカネ、チョウトンボ、ベニイトトンボ (11種類)

<チョウ>キタキチョウ、ナミアゲハ、メスグロヒョウモン (♂)、ヒメウラナミジャノメ、

コミスジ (5種類)

<バッタ・キリギリス類>ツチイナゴ、ハネナガイナゴ、トノサマバッタ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ、ツユムシ (6種類)

<ガ類>スズメガの幼虫、不明幼虫 (2種類)

<甲虫類>ハッカハムシ、センチコガネ (2種類)

<その他>オオカマキリ、アワフキの仲間 (2種類)



現地でのいろんな説明



採集したものの説明を行いました



現地での昆虫採集の様子



昆虫を捕ったようです

### 親子自然観察隊の感想

#### ★河村直樹（小3）

トンボをとるのが思っていたより難しかった。虫かごに入れる時に（上手く入れれず）飛んでいってしまって悔しかった。僕はトンボ2匹とバッタ2匹を採った。皆がたくさん採った昆虫を管さんが説明してくれたのが面白かった。

#### ★河村卓弥（小5）

暑かった。僕の知らない虫がたくさんいた。ハリガネムシがかまきりの身体を操っていることを知ってびっくりした。一生忘れないと思う。

#### ★河村（母）

家の前が公園なので、昔は子供たちとよく昆虫探しをしました。カブトムシを4年間育ててみたり、色々な虫を飼ったことも。…そんなことを懐かしく思い出しました。管さんはじめ、スタッフの方々が昆虫の説明をして下さり、子供たちは再び虫採りの楽しさを感じたようです。私も公園や庭で虫たちに目を向けて身近な自然を感じてみようと思います。

#### ★篠田（母）

去年とはまた違う種類の虫を沢山捕まえていたし、回を重ねる事に少しずつ知識が増えていっている実感があります。今回は、色々な偶然が重なった結果見る事の出来たハリガネムシと、カマキリとの関係に驚きました。また、ヌルデの虫こぶの話など、自然界の面白い話を、実物を見ながら教えてもらえて有り難いと感じています。今回もとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。会長、隊長を始め、お世話してくださった皆様方、本当にありがとうございました。

#### ★溝邊睦

トンボを捕まえることができ嬉しかったです！糸とんぼや赤とんぼにたくさんの種類があっびっくりしました！

★溝邊(母)

娘と虫取りの競争をしようと楽しく虫取りをさせてもらいました。そのあと解説もわかりやすく楽しかったです！天気によって虫の出具合が変わる事も興味深かったです。この度も楽しい時間をありがとうございました！

★早崎(会員)

図鑑でしかみたことのないような虫を間近で見ると自然の生態系を学ぶ良い機会となりました。静かな環境でゆっくり観察することでとてもリラックスできました。また来年も行きたいです。観察隊の菅先生から善意でいただいた写真集はすごかったです。そのあと実物を捕まえ比較したりして観察できました。とても貴重な体験で楽しめました。ありがとうございました。菅隊長は、何の虫か聞いたらすぐに答えてくださり、その知識にとっても驚きました。そしてとても面白かったです。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 ( 管 哲郎 記)

(91) ツマアカクモバチ *Tachypompilus analis* クモバチ科

北海道を除く日本全土に生息します。体長は11～20ミリ、5月～9月まで見られます。クモバチ科のハチはクモ類を捕獲し、地中の巣穴に引きずり込んでクモの体内に産卵します。ほかのクモバチと違い黒い体におなかの半分は赤橙色をしていますので、よくわかります。昔の古い民家や倉庫の中には大型のアシダカグモがいましたが、そんなアシダカグモを狩るハチです。



ツマアカクモバチ



アシダカグモを狩り運搬しているツマアカクモバチ

## 7. 会よりの連絡事項

- 1) 10月22日は臨時総会です。今後の活動で、不要な工具・用具などの処分や、会の保持金を今後どのように使用していくかなどを話し合います。多くの方の参加をお願いします。

## 8. 編集後記 ( 中本 亜矢子 記 )

里山は人の手入れによって整備され、昔ながらの美しい風景と生き物の生態系が守られている場所です。「里山ビオトープ二俣瀬」では、月2回ほど会員が草刈りやエコアップを続け、現状を保ってきました。気候の良い時は気持ち良いですが、暑い時、寒い時の作業は辛いです。でも辛い作業のあと、暑い時には冷たいカルピスを飲み、寒いときにはかき餅を焼いて食べたりと、ささやかな楽しみもあったのはうれしかったです。里山ビオトープをつくる会の立ち上げの時から参加させていただいていますが、あれからはや22年、時の経つのは本当に早いものですね。何より四季折々に変化するビオトープの風景に癒され、今まで続けてこられた気がします。(えんぼとたんぼの始発駅)であるこの場所がこれからも維持され、みなさんのよりどころとなることを願っています。